

マンスリートピックス

「西南部・南部区間」の整備区間への格上げに向けて

平成20年度名古屋環状2号線早期整備促進会議 総会



名古屋環状2号線早期整備促進会議(代表幹事:川口中経連会長、岡田名商会頭)は8月4日、名古屋栄ビルで総会を開催した。中部地方整備局の中神道路部長、中日本高速道路株式会社名古屋支社の近藤建設事業部長、愛知県の湯山建設部長、名古屋市の入倉住宅都市局長、名古屋港管理組合の原企画調整室次長、中経連の川口会長、名商の細谷専務理事など、約50人が出席した。

まず、川口代表幹事による主催者挨拶があり、この中で約25万人の名古屋環状2号線早期整備を求める署名に対する謝意と「西南部・南部区間」の整備区間への格上げに対する強い決意が表明された。続いて、平成19

年度事業報告・収支決算報告、平成20年度事業計画・収支予算について審議、原案どおり承認された。

議事終了後、中日本高速道路株式会社名古屋工事事務所の湯川所長より名古屋環状2号線の「東部・東南部の工事進捗状況」の説明、中部地方整備局の中神道路部長より「道路をめぐる最近の話題」について講演が行われた。最後に(社)愛知トラック協会の奥村企画広報部長が意見発表を行った。

